

## 【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	中国財務局長
【提出日】	平成25年11月13日
【四半期会計期間】	第69期第2四半期（自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日）
【会社名】	マナック株式会社
【英訳名】	MANAC INCORPORATED
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 杉之原 祥二
【本店の所在の場所】	広島県福山市箕沖町92番地
【電話番号】	084(954)3330(代表)
【事務連絡者氏名】	管理部長 杉之原 誠
【最寄りの連絡場所】	広島県福山市箕沖町92番地
【電話番号】	084(954)3330(代表)
【事務連絡者氏名】	管理部長 杉之原 誠
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第68期 第2四半期 連結累計期間	第69期 第2四半期 連結累計期間	第68期
会計期間	自平成24年4月1日 至平成24年9月30日	自平成25年4月1日 至平成25年9月30日	自平成24年4月1日 至平成25年3月31日
売上高(千円)	4,459,004	4,494,928	9,240,909
経常利益(千円)	60,097	82,165	313,258
四半期(当期)純利益(千円)	26,990	8,755	171,441
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	173,467	98,024	373,860
純資産額(千円)	8,368,424	8,953,336	8,895,598
総資産額(千円)	11,848,511	12,161,241	12,168,180
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	3.36	1.09	21.34
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	70.6	73.6	73.1
営業活動によるキャッシュ・フロー (千円)	191,372	238,152	564,080
投資活動によるキャッシュ・フロー (千円)	303,180	124,315	434,716
財務活動によるキャッシュ・フロー (千円)	155,616	174,028	231,402
現金及び現金同等物の四半期末(期 末)残高(千円)	1,004,500	1,748,707	1,202,448

回次	第68期 第2四半期 連結会計期間	第69期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自平成24年7月1日 至平成24年9月30日	自平成25年7月1日 至平成25年9月30日
1株当たり四半期純利益金額又は1株 当たり四半期純損失金額( )(円)	3.89	3.52

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### 2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び連結子会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、又は、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

#### (1)業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の積極的な景気回復に向けた経済政策や金融政策により企業業績の回復が期待されておりますが、円安に伴う燃料、原料価格の上昇などから、景気の回復を実感するまでには至っていない状況で推移いたしました。

当社グループを取り巻く化学業界におきましては、電子部品業界や家電業界での需要減少傾向が続いていることや中国など新興国の経済成長の伸びが鈍化していることから厳しい環境で推移いたしました。

このような状況において当社グループは新しいマーケットの開拓とニーズの発掘、また全社をあげてコスト削減に取り組んでまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間における当社グループの売上高は4,494百万円（前年同四半期比+35百万円、0.8%増）となり、営業利益は13百万円（前年同四半期は営業損失27百万円）、経常利益は82百万円（前年同四半期比+22百万円、36.7%増）となりました。四半期純利益は、平成25年6月16日に当社連結子会社である八幸通商株式会社鹿島工場で発生した倉庫火災事故による特別損失を計上したことから、8百万円（前年同四半期比18百万円、67.6%減）となりました。

各セグメントの業績は次のとおりであります。

#### ファインケミカル事業

ファインケミカル事業のうち、電子材料や機能材料は需要の低迷により、当社製品に厳しい環境が続いておりますが、医薬関連製品は経済環境に大きく左右されることなく堅調に推移致しました。

その結果、売上高は2,464百万円（前年同四半期比+97百万円、4.1%増）、セグメント利益は154百万円（同+2百万円、1.4%増）となりました。

#### 難燃剤事業

難燃剤事業につきましては、IT産業関連製品や家電製品に使用される高機能プラスチック用難燃剤の需要が縮小しており、依然、当社製品に厳しい環境が続いております。

その結果、売上高は1,490百万円（前年同四半期比15百万円、1.0%減）、セグメント利益は133百万円（同2百万円、1.7%減）となりました。

#### ヘルスサポート事業

ヘルスサポート事業につきましては、主要製品が人工透析薬剤の原料として使用されますが、主要顧客の稼働、在庫調整が行われたため一部販売に影響がでました。

その結果、売上高は539百万円（前年同四半期比45百万円、7.8%減）、セグメント利益は53百万円（同17百万円、24.3%減）となりました。

#### (2)資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて6百万円減少し、12,161百万円となりました。これは主に、流動資産は減少したものの固定資産が増加したことによるものであり、総資産全体では大きな変動はありませんでした。

負債は、前連結会計年度末に比べて64百万円減少し、3,207百万円となりました。これは主に買掛金が減少したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて57百万円増加し、8,953百万円となりました。これは主に、その他有価証券評価差額金の増加によるものであります。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べて546百万円増加し、1,748百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は238百万円（前年同四半期は191百万円の獲得）となりました。

これは主に、減価償却費142百万円等を計上したこと及び売上債権の減少によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果得られた資金は124百万円（前年同四半期は303百万円の支出）となりました。

これは主に、有形固定資産取得準備のため金銭の信託を一部解約したことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は174百万円（前年同四半期は155百万円の支出）となりました。

これは主に、長期借入金の増加によるものであります。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題について重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(5) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間における研究開発活動の金額は170百万円であります。

なお、当第2四半期連結累計期間における当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	23,200,000
計	23,200,000

###### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数(株) (平成25年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成25年11月13日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	8,625,000	8,625,000	東京証券取引所 市場第二部	単元株式数 100株
計	8,625,000	8,625,000	-	-

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額 (千円)	資本準備金残 高(千円)
平成25年7月1日～ 平成25年9月30日	-	8,625,000	-	1,757,500	-	1,947,850

(6) 【大株主の状況】

平成25年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数 に対する所有株式 数の割合(%)
東ソー株式会社	東京都港区芝三丁目8番2号	1,608	18.65
一般財団法人松永財団	広島県福山市箕沖町92番地	916	10.62
三菱製紙販売株式会社	東京都中央区京橋二丁目6番4号	607	7.04
株式会社広島銀行	広島市中区紙屋町一丁目3番8号	322	3.74
マナック社員持株会	広島県福山市箕沖町92番地	294	3.42
杉之原 祥二	広島県福山市	254	2.95
合同資源産業株式会社	東京都中央区京橋二丁目12番6号	200	2.32
日本生命保険相互会社	東京都千代田区丸の内一丁目6番6号	145	1.69
株式会社三菱東京UFJ銀行	東京都千代田区丸の内二丁目7番1号	139	1.61
光和物産株式会社	広島県福山市南本庄二丁目12番27号	121	1.40
計	-	4,608	53.44

(注) 上記のほか、当社保有の自己株式が591千株あります。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成25年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 591,000	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 8,011,900	80,119	-
単元未満株式	普通株式 22,100	-	1単元(100株)未満 の株式
発行済株式総数	8,625,000	-	-
総株主の議決権	-	80,119	-

【自己株式等】

平成25年9月30日現在

所有者の氏名又は 名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数(株)	他人名義所有 株式数(株)	所有株式数の 合計(株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
マナック株式会社	広島県福山市箕沖町 92番地	591,000	-	591,000	6.85
計	-	591,000	-	591,000	6.85

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】  
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,179,395	1,790,898
受取手形及び売掛金	2,862,962	2,410,077
有価証券	268,524	129,956
金銭の信託	1,100,000	800,000
商品及び製品	1,058,135	1,064,985
仕掛品	450,622	506,380
原材料及び貯蔵品	420,225	407,049
繰延税金資産	96,374	122,518
その他	118,862	78,916
貸倒引当金	2,486	2,250
流動資産合計	7,552,615	7,308,531
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,077,121	1,051,268
機械装置及び運搬具(純額)	588,822	566,070
土地	1,138,740	1,138,740
建設仮勘定	48,235	49,467
その他(純額)	174,516	161,821
有形固定資産合計	3,027,435	2,967,367
無形固定資産	2,774	2,740
投資その他の資産		
投資有価証券	1,265,214	1,558,895
関係会社長期貸付金	109,350	109,000
繰延税金資産	1,462	-
その他	209,928	215,307
貸倒引当金	600	600
投資その他の資産合計	1,585,355	1,882,602
固定資産合計	4,615,565	4,852,710
資産合計	12,168,180	12,161,241



(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,220,168	1,089,329
短期借入金	912,269	1,062,510
未払法人税等	25,316	14,863
賞与引当金	114,157	93,312
その他	497,664	396,157
流動負債合計	2,769,575	2,656,172
固定負債		
長期借入金	196,948	261,021
繰延税金負債	18,332	62,113
役員退職慰労引当金	54,729	54,729
負ののれん	40,542	20,271
その他	192,454	153,597
固定負債合計	503,006	551,732
負債合計	3,272,582	3,207,904
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,757,500	1,757,500
資本剰余金	1,947,850	1,947,850
利益剰余金	5,255,287	5,223,871
自己株式	243,705	243,820
株主資本合計	8,716,931	8,685,401
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	135,797	195,112
繰延ヘッジ損益	3,994	-
為替換算調整勘定	38,874	72,822
その他の包括利益累計額合計	178,666	267,935
純資産合計	8,895,598	8,953,336
負債純資産合計	12,168,180	12,161,241

( 2 ) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

( 単位：千円 )

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
売上高	4,459,004	4,494,928
売上原価	3,687,378	3,704,374
売上総利益	771,626	790,554
販売費及び一般管理費	799,342	777,045
営業利益又は営業損失( )	27,716	13,509
営業外収益		
受取利息	3,633	3,595
受取配当金	12,955	13,421
為替差益	-	18,139
負ののれん償却額	20,271	20,271
受取ロイヤリティ	21,314	15,442
受取保険料	31,000	-
その他	25,655	14,115
営業外収益合計	114,829	84,987
営業外費用		
支払利息	10,413	9,505
デリバティブ評価損	2,906	5,284
為替差損	13,122	-
その他	573	1,540
営業外費用合計	27,016	16,330
経常利益	60,097	82,165
特別利益		
固定資産売却益	123	9
特別利益合計	123	9
特別損失		
固定資産除却損	1,879	1,510
投資有価証券評価損	2,330	-
投資有価証券売却損	3,079	-
災害による損失	-	65,458
特別損失合計	7,288	66,968
税金等調整前四半期純利益	52,931	15,207
法人税、住民税及び事業税	25,435	17,621
法人税等調整額	506	11,170
法人税等合計	25,941	6,451
四半期純利益	26,990	8,755

【四半期連結包括利益計算書】  
 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
四半期純利益	26,990	8,755
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	157,221	59,315
繰延ヘッジ損益	13,012	3,994
為替換算調整勘定	30,223	33,948
その他の包括利益合計	200,457	89,268
四半期包括利益	173,467	98,024
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	173,467	98,024
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

## (3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	52,931	15,207
減価償却費	144,836	142,210
負ののれん償却額	20,271	20,271
賞与引当金の増減額(は減少)	10,627	20,845
受取利息及び受取配当金	16,588	17,017
支払利息	10,413	9,505
有形固定資産除売却損益(は益)	1,756	1,500
投資有価証券売却損益(は益)	3,079	-
投資有価証券評価損益(は益)	2,330	-
売上債権の増減額(は増加)	216,083	453,199
たな卸資産の増減額(は増加)	96,668	36,081
仕入債務の増減額(は減少)	58,356	132,444
その他	65,442	137,206
小計	280,187	257,755
利息及び配当金の受取額	17,315	16,713
利息の支払額	10,406	9,509
法人税等の支払額	95,724	26,807
営業活動によるキャッシュ・フロー	191,372	238,152
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	410,119	385,133
定期預金の払戻による収入	410,101	280,119
金銭の信託の取得による支出	700,000	300,000
金銭の信託の解約による収入	700,000	700,000
有形固定資産の取得による支出	207,745	52,224
投資有価証券の取得による支出	240,436	224,972
投資有価証券の売却による収入	144,598	100,741
貸付金の回収による収入	300	350
その他	120	5,435
投資活動によるキャッシュ・フロー	303,180	124,315
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(は減少)	45,782	60,697
長期借入れによる収入	-	400,000
長期借入金の返済による支出	69,646	124,988
自己株式の取得による支出	15	114
配当金の支払額	40,172	40,171
財務活動によるキャッシュ・フロー	155,616	174,028
現金及び現金同等物に係る換算差額	11,543	9,762
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	278,967	546,258
現金及び現金同等物の期首残高	1,283,468	1,202,448
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,004,500	1,748,707

【注記事項】

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
給料及び賞与	192,583千円	191,766千円
賞与引当金繰入額	42,803	30,919

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
現金及び預金勘定	1,180,589千円	1,790,898千円
金銭の信託勘定	1,000,000	800,000
有価証券勘定	260,930	129,956
小計	2,441,519	2,720,854
預入期間が3か月を超える定期預金、金銭 の信託等	1,437,019	972,147
現金及び現金同等物	1,004,500	1,748,707

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)

1. 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月26日 定時株主総会	普通株式	40,172	5.0	平成24年3月31日	平成24年6月27日	利益剰余金

(2) 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間末後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年11月9日 取締役会	普通株式	20,086	2.5	平成24年9月30日	平成24年12月5日	利益剰余金

2. 株主資本の金額の著しい変動

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)

1. 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月25日 定時株主総会	普通株式	40,171	5.0	平成25年3月31日	平成25年6月26日	利益剰余金

(2) 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間末後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年11月8日 取締役会	普通株式	20,084	2.5	平成25年9月30日	平成25年12月5日	利益剰余金

2. 株主資本の金額の著しい変動

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			
	ファインケミカル事業	難燃剤事業	ヘルスサポート事業	合計
売上高				
外部顧客への売上高	2,367,050	1,506,233	585,720	4,459,004
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-
計	2,367,050	1,506,233	585,720	4,459,004
セグメント利益	151,969	135,826	71,166	358,962

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	358,962
全社費用(注)	386,678
四半期連結損益計算書の営業損失	27,716

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社管理部門に係る費用等であります。

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			
	ファインケミカル事業	難燃剤事業	ヘルスサポート事業	合計
売上高				
外部顧客への売上高	2,464,489	1,490,550	539,888	4,494,928
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-
計	2,464,489	1,490,550	539,888	4,494,928
セグメント利益	154,117	133,568	53,860	341,546

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	341,546
全社費用(注)	328,037
四半期連結損益計算書の営業利益	13,509

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社管理部門に係る費用等であります。

(金融商品関係)

当第2四半期連結会計期間末において、四半期連結貸借対照表計上額その他の金額に前連結会計年度の末日に比べて著しい変動がないため、記載しておりません。

(有価証券関係)

当第2四半期連結会計期間末において、四半期連結貸借対照表計上額その他の金額に前連結会計年度の末日に比べて著しい変動がないため、記載しておりません。

(デリバティブ取引関係)

当第2四半期連結会計期間末において、取引の契約額その他の金額に前連結会計年度の末日に比べて著しい変動がないため、記載しておりません。

(企業結合等関係)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	3円36銭	1円09銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	26,990	8,755
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	26,990	8,755
普通株式の期中平均株式数(株)	8,034,471	8,034,133

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 2【その他】

平成25年11月8日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

(イ) 中間配当による配当金の総額.....20,084千円

(ロ) 1株当たりの金額.....2.5円

(ハ) 支払請求の効力発生日及び支払開始日.....平成25年12月5日

(注) 平成25年9月30日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払いを行います。



## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年11月8日

マナック株式会社  
取締役会 御中

### 有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 柴田 良智 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 中原 晃生 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているマナック株式会社の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

#### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

#### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、マナック株式会社及び連結子会社の平成25年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはX B R Lデータ自体は含まれていません。